



【「はばたけ群馬プラン」重点プロジェクト推進シート】 <PJ5>2

主な取組 (B)	施策 (C)	事業 (D)	個別事業(E)										決算額		事業の評価と改善の方向性(H26年度予算への対応)					
			個別事業名 (予算上の事業または事項)	新規/ 再掲	担当部局	担当課	個別事業概要	成果(結果)を示す項目	目標・指標				予算額		H24 決算 (千円)	H24事業結果	部局評価		財政課評価	
									実績値 (過去3年間)				H24 当初 (千円)	H25 当初 (千円)			評価 区分	評価の考え方	評価 区分	評価の考え方
									H22 H23 H24	H24 (前年度)	H25 (当年度)	H27 (総合計画 終期)								
			ぐんまトライワーク推進 (高校生長期インターンシップ)	再掲	教育委員会	高校教育課	2週間程度の長期就業体験を実施し、専門分野に対する実践的な知識・技術の体得を図るとともに、望ましい勤労観・職業観を育成する。	専門高校における長期インターンシップ実施学校の割合	H22:90.5% H23:90.5% H24:95.2%	100%	100%	100%	811	688	597	・夏季休業中を中心に777名の生徒が就業体験に参加し、望ましい勤労観・職業観の育成に繋げることができた。	3	生徒の勤労観・職業観の育成はもとより、受け入れた企業からも生徒の意欲的な姿勢が評価されるなど、成果を上げている。 ・本事業は、本県の産業を支える人材を育成する上で有効な取組であり、地域産業界からの要望もあるため、事業の拡充が必要である。	4	生徒の勤労観の育成に加え、地元企業への定着にも効果が見込めるため、継続。
			社会人講師活用	再掲	教育委員会	高校教育課	普通科、総合学科を置く高校において、多様で特色のある教育課程を編成するため、地元企業等から社会人を講師として招へいする。 スポーツ科・芸術科において、指導内容の専門性を充実させるため、高度な専門知識・技術を有する人材を講師として招へいする。	普通科、総合学科等における社会人講師の授業時間数。	総合学科等 H22:264h H23:273h H24:253h 特別講師 H22:137h H23:137h H24:127h	総合学科等 260h(11校) 特別講師 137h(1校)	総合学科等 230h(11校) 特別講師 120h(1校)	総合学科等 260h(11校) 特別講師 137h(1校)	1,427	1,253	1,240	・総合学科等講師派遣事業:239時間を11校において、地元企業、研究機関等から、豊かな経験と知識・技術をもつ人材を講師として招へいした。 ・特別講師派遣事業:127時間を1校において、高度な専門的知識・技術を有する人材を講師として招へいした。	4	各高等学校において、多様で特色ある教育課程を編成・実施し、指導内容の充実を図るためには、外部人材を活用していくことが必要不可欠である。	4	地域の外部人材等を活用した指導内容の充実を図るため、継続。
			群馬県産業教育フェア【高校】 特別支援学校教育充実(群馬県産業教育フェア)【特・支】	再掲	教育委員会	高校教育課、特別支援教育室	職業教育に関する学科等及び特別支援学校高等部に学ぶ生徒の学習成果等の発表の場を提供し、生徒の自発性や創造性を高め、新時代に対応した職業教育を推進するとともに、小中学生等の適切な進路学習の機会とする。	参観者数	H22:5,315名 H23:5,990名 H24:4,200名	5,500名	5,500名	5,500名	4,839	【高校】 3,702 【特・支】 880	【高校】 3,795 【特・支】 1,037	【高校】 平成24年11月9日(金)、10日(土) 藤岡市民体育館 みかほらい館 参観者数4,200名 開会行事、作品展示、研究発表、展示販売等に参画し、生徒の日ごろの学習内容・成果を公開し、特別支援教育に対する理解を深めた。	4	【高校】 職業教育に関する学科等及び特別支援学校高等部に学ぶ生徒に、学習成果の発表の場を与え、自発性、創造性を高めることができた。また、小中学生に職業教育に関する学習の機会を提供することができるため必要不可欠である。 【特・支】 特別支援学校高等部で学ぶ生徒に、学習成果の発表の場を与え、自発性、創造性を高めることができた。また、小中学生等が特別支援教育を理解し、障害のある子どもと接する貴重な機会を提供し職業教育の一助となっている。	4	一般県民に対して、職業教育などの学習成果を発表することで、生徒の意欲向上にも貢献しているため、継続。
			福祉資格取得推進	再掲	教育委員会	高校教育課	福祉科目の授業を実施している学校において、医師、看護師、訪問介護員等を招へいするとともに、高齢者施設に実習を委託し、福祉教育の充実を図る。	介護福祉士合格者	H22:45名 H23:50名 H24:48名	51名	51名	52名	4,070	4,343	3,214	医師、看護師、訪問介護員等を社会人講師等として招へいするなどして福祉教育を実践した結果、介護福祉士合格者が48名となった。	4	福祉資格の取得を目指す高等学校において、福祉教育の充実を推進することができ、介護福祉士において、2年連続して高い合格率となった。本県の介護人材を育成するためにも継続する必要がある。	4	介護人材育成のために必要な事業であるため、継続。
			特別支援学校職業自立推進	再掲	教育委員会	特別支援教育室	① 就労支援員4人を県立知的特別支援学校に配置し、就業体験先や新たな職種の開拓、企業に対する理解促進を図る。 ② 県立知的特別支援学校の高等部生徒を対象に介護現場の業務に関する体験型研修会を新規に計画し、社会・介護サービス等に関する職業への就労の拡大を図る。	① 就業体験が受入可能な企業の件数 ② 体験型研修会参加生徒数	①H22:165 H23:215 H24:228 ②H25:20	①180	①240	①260	9,716	10,878	8,733	就労支援員4人を県立知的特別支援学校8校に配置し、就業体験先や新たな職種の開拓、企業に対する高等部生徒の就労についての理解促進を行うことができた。	4	特別支援学校高等部生の就労については、一人一人の適性、通勤手段、生活支援などきめ細かく調整した上で進めることが重要である。就労支援員の就業体験先等の開拓により高等部生の就労促進が円滑になされ進路選択が適切になされている。 就労を支援する企業、労働機関等との連携を引き続き深めることが必要である。	4	特別支援学校生徒の就業体験先や新たな就職先の開拓、企業に対する理解促進のための経費であり、今後もハローワークや障害者就労サポートセンターと連携して就労を促進する必要があるため、継続。
			特色ある教育活動推進 「ぐんまスクール・オブ・ザ・イヤー」	再掲	教育委員会	義務教育課	学校の伝統や実態、地域の特色に応じた関わり合いなど、特色ある教育活動に取り組んでいる優れた小中学校を表彰し、広く県民に紹介する。	各学校における特色ある教育活動の一層の推進	H23年度に初の表彰の実施	2年目の表彰の実施	3年目の表彰の実施	各学校でそれぞれ特色ある教育が実践される。	294	285	282	小学校68校、中学校30校の応募校について、書類審査、プレゼンテーション審査を行い、小中学校別に最優秀校1校、優秀校2校を選考し、表彰を行うとともに、全応募校の取組について、Webページで紹介した。	4	特色ある教育活動への取組が評価され、表彰されるということは、学校にとって大きな励みになる。 また、受賞校の取組を県教育委員会のWebページや広報誌等に掲載したり、テレビ番組で紹介したりすることで、他校等への波及効果も期待できるので、今後も継続して実施する。	4	児童生徒が創意工夫しながら主体的に取り組む優れた教育活動を表彰することで、教育活動の更なる充実を図るため、継続。 県民への周知方法について効果的な方法を検討すること。
			道徳教育総合支援事業	再掲	教育委員会	義務教育課	道徳教育に関する学校や地域の特色を生かした多様な取組を支援し、道徳教育の一層の充実を図る。	道徳郷土資料「ぐんまの道徳」を、H26年度末までに作成し、道徳の時間等における活用を促すことにより、道徳教育の一層の充実を図る。	○H23:道徳郷土資料集作成に向けた構想づくりを行う。 H24:道徳郷土資料集作成に向けた準備を引き続き行う。 基礎・基本習得状況調査を2月に実施 ○「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合 H22:小6 82% 中3 75.5% H23:震災のため調査なし H24:小6 86% 中3 80%	「ぐんまの子ども」の基礎・基本習得状況調査を実施、児童生徒の道徳性の実態を把握する。	○道徳郷土資料作成委員会を組織し、読み物資料及び指導資料(案)を作成する。 ○小6 88% 中3 80%	○作成した道徳郷土資料集を活用して、道徳教育の一層の充実を図る。 ○小6 90% 中3 80%	3,295	3,642	2,227	2市1村1高校における道徳教育に関する学校や地域の特色を生かした多様な取組を支援した。 道徳郷土資料作成に向け、作成計画の立案や資料収集を開始した。	4	子どもたちの豊かな心をはぐむために道徳教育は重要であり、今後も継続して推進する。 H25年度に向けては道徳郷土資料の試案を作成する。	4	学校や地域の特色を生かした道徳教育を推進するため、継続。
			ぐんまグローバル塾	再掲	企画部	国際戦略課	県民及び県内の企業・団体・行政を対象に、国際的な視点で活躍し、地域への貢献が期待できるグローバル人材を育成するため、講演会等を実施する。 また、群馬県の学生等を対象とした海外インターンシップを実施する。	①講演会等参加者数 ②インターンシップ参加者数	①講演会等参加者数 H22:60人 H23:524人 H24:709人 ②インターンシップ参加者数 H24:6人	①315人 ② 6人	①315人 ② 6人	①315人 ② 6人	2,110	1,636	767	海外事情に通じた専門家による講演会・勉強会を計10回開催し、県内企業・団体等から延べ709名が参加し、海外展開に関わる人材育成を図った。 また、県内大学生等を米国の協力企業へインターンシップとして派遣し、グローバル人材の育成を図った。	4	県の持つ海外ネットワークを活用し、海外展開を図る企業関係者や次代を担う若者等のグローバル人材育成を効果的に行った。 H26は、国際戦略の展開により拡がるネットワークを活用し、継続して実施していく。	4	講演会等の開催により、海外事業を行う者または今後海外展開を目指している者に対して、具体的なテーマで情報提供を行っていること、また、人的ネットワークづくりにつながることから継続。

【「はばたけ群馬プラン」重点プロジェクト推進シート】 <PJ5>3

主な取組(B)	施策(C)	事業(D)	個別事業(E)										決算額	事業の評価と改善の方向性(H26年度予算への対応)										
			個別事業名 (予算上の事業または事項)	新規/再掲	担当部局	担当課	個別事業概要	成果(結果)を示す項目	目標・指標					予算額		H24事業結果	部局評価		財政課評価					
									実績値 (過去3年間)					H24 (前年度)	H25 (当年度)		H27 (総合計画 終期)	H24 当初 (千円)	H25 当初 (千円)	H24 決算 (千円)	評価 区分	評価の考え方	評価 区分	評価の考え方
									H22	H23	H24	H24												
			医師臨床研修支援事業	再掲	健康福祉部	医務課	県内の臨床研修医を増加させること で、県内病院への医師の定着・確保を図 るため、合同ガイダンス開催、県外合同 セミナーへの参加、指導医養成講習会開 催等を実施する。	臨床研修医の採用人数	H22: 72人 H23: 87人 H24: 83人	100人	100人	110人	5,023 (※1の内 数)	4,659 (※1の内 数)	4,127	4	臨床研修医確保のため、医学生等 を対象としたガイダンスの開催や県外 合同セミナー参加により、研修病院の 魅力をPRする必要はある。	4	臨床研修医を県内外から積極的に 確保するために必要な事業であり継続 。					
			ぐんまレジデントサポート推進事業	再掲	健康福祉部	医務課	県内の研修医確保のため、臨床研修 病院が連携した魅力的なプログラムの構 築を推進するとともに、ぐんまレジデント サポート協議会による医学生と研修医の 交流セミナー等を実施する。	臨床研修医の採用人数	H22: 72人 H23: 87人 H24: 83人	100人	100人	110人	6,551 (※1の内 数)	5,980 (※1の内 数)	2,370	4	研修病院の魅力をPRや、研修医相 互及び研修医と医学生の交流を深め る効果も期待でき、今後も引き続き実 施する必要がある。	1	地域医療再生基金を活用した事業 であり、H25で事業は廃止。 医師臨床研修支援事業等で、臨床 研修医の確保に引き続き取り組む必 要がある。					
			新人看護職員研修事業	再掲	健康福祉部	医務課	病院等に対する免許取得後の新人研 修補助、研修責任者研修、実地指導者 研修などを行う。	新人看護職員等数	H22: 573人 H23: 580人 H24: 614人	600人	630人	652人	41,268	40,153	25,732	4	病院等に対する免許取得後の新人 研修補助、研修責任者研修、実地指 導者研修などを行い、看護の質の向 上及び看護職員の離職防止を図る環 境の整備に努めた。	4	看護職員の質の向上や離職防止を 図るための研修実施などに必要となる 経費であるため継続。 予算額(H24当初予算:41,268千円) については、執行状況をみながらの検 討が必要。					
■ 県民ぐるみで人づくりを行う意識の醸成を図ります。																								
			総合計画推進(人づくり戦略推進 体制の構築)	再掲	企画部	企画課	人づくりに関する合意形成・気運醸成、 また、人づくりを行う主体間の情報共有 ・連携促進を行うため、県内の人づくりに 取り組む団体等による「群馬県人づくり ネットワーク」を構築する。	群馬県人づくりネットワ ークの登録団体数	H22:- H23:- H24:10件	50	100	200	663	105	105	4	H24年8月に「群馬県人づくりネット ワーク」を設置し、先行登録を開始し た。検討の結果、当初想定していた幹 事会は設置せず、事務局が直接企画 運営することとなった。	4	引き続き「群馬県人づくりネットワ ーク」及びウェブサイト運営する。 先行事例の紹介や団体間の交流や マッチング等により取組を充実させ る。	4	様々な団体がつながりを持って、連 携・協力するための体制を整えたところ であるため、継続。			
			総合計画推進(群馬県人づくりネット ワーク交流会)	再掲	企画部	企画課	「群馬県人づくりネットワーク」登録団体 のより効果的な連携促進を図るため、 ネットワーク登録団体相互のフェイスツ フェイスによる交流会を開催する。	交流会参加団体数	H22:- H23:- H24:3(座談会として開催)	50	100	200	610	600	444	4	H25年3月に人づくりネットワークの 構成団体のうち、特に活発な取組を行 う3団体間の交流や今後のネットワ ークの取組に関する意見交換等を行っ た。結果、「ネットワークとして共通の 連携事業に取り組んでいくべき」という 意見が出された。	4	人づくりに取り組む団体間の連携を 促進し、人づくり活動をさらに活発化し ていくためには、ネット上での情報共 有に加えて、フェイストゥフェイスでの 交流を推進する必要がある。	4	様々な団体がつながりを持って、連 携・協力するための体制を整えたところ であるため、継続。			
2 人づくりを行う多様な主体のネットワークの構築 小計 129,312																								
3 多様な担い手の支援・育成																								
(1)多様な担い手の支援・育成																								
■ 地域課題の解決に向けて取り組むNPOやボランティアなどの市民活動に関する相談や情報提供を行うとともに、多くの県民がNPOやボランティア活動に参加しやすい環境を整備します。																								
			市民活動支援(NPO等活動支援 事業を除く)		生活文化ス ポーツ部	NPO・多文 化共生推進 課	・NPO・ボランティアに関する相談や情報 提供、団体の基盤強化のためのセミナー などを行い、市民活動を支援する。 ・NPOへの融資や補助等を行い、市民 活動の担い手であるNPOを資金面から 支援する。	①NPO法人認証数 ②NPO・ボランティアサロン ぐんま相談等件数	①NPO法人認証数 H22 691法人 H23 722法人 H24 773法人 ②NPO・ボランティアサロンぐ んま相談等件数 H22 1,665件 H23 1,497件 H24 1,441件	①790法人 ②1,600件	①840法人 ②1,600件	①940法人 ②1,600件	85,165	81,853	37,938	4	NPO法人の認証等の事務を行うと ともに、改正NPO法に対応するための 条例等の規定整備や、認定NPO法人 制度ガイドブックを作成し、申請手続を 円滑に進めるための環境整備を行っ た。 NPO法人を資金面から支援するた めの制度融資を実施した。 NPO・ボランティアサロンぐんまを運営し、 NPOやボランティア活動に関する相談 や情報提供、セミナーの開催等を実施 し、市民活動の促進を図った。	4	県内NPO法人数の増加に加え、認 定NPO法人制度事務の移管等によ り、指導監督業務は増加傾向にある が、今後も適正に制度を運用してい く。 また、新たな課題として「共助社会づ くり」への対応が求められているため、 「NPO等活動支援事業」の成果を活 かし、中間支援団体の機能強化やNP O等と行政の協働を深化していくた めの施策を実施していく。 また、NPO・ボランティアサロンぐん までは、市町村の市民活動支援センタ ーの効果的な支援など、広域的・専門 的な支援を行い、連携を強化していく。	4	NPO法人の設立認証等の事務を始 め、市民活動を促進していくため、継 続。			
			文化づくり支援事業	新規/ 再掲	生活文化ス ポーツ部	文化振興課	群馬県文化振興指針の重点施策を、長 期的な展望をもって、総合的かつ効果 的に推進するため、群馬県の文化力向 上に資する事業に対して財政的・人的 支援を行う。	支援件数	-	-	34件	100件(3カ年)	-	11,200	-	平成25年度新規事業のため、事業評価対象外								
3 多様な担い手の支援・育成 小計 93,053																								